

# 取扱工事説明書

このたびは、TBC商品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。取付施工手順の際、商品の機能が充分に発揮できるようにこの説明書をよくお読みのうえ、使用条件にそって正しく施工して下さるようお願いいたします。また、この説明書は施工完了後に必ずお客様にお渡しください。

## 目次

1.安全上のご注意	1
2.器具の取付け	2
3.仕様・寸法図	7
4.構成図	8
5.使用上のご注意(お客様へ)	9

## TBC FLAT SERIES

TABUCHI (水栓コンセント・混合栓)

壁付2ハンドル・天井配管用埋込・ホース接続

SP(SC)1200US (緊急ストッパー付)  
 SP1200USA (緊急ストッパー・ウォータハンマ低減機能付)  
 SC:寒冷地仕様 (逆止弁解除機能・保温材付)

# 1 安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
 ※ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。  
 ※施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに、説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。  
 又、この取扱工事説明書はお客様で保管頂くように依頼してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

**⚠ 注意** この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●お守りいただく内容を次の絵表示で区分し、説明しています。

**🚫 禁止** この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。  
**🛑 強制** この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 〈施工前の確認事項〉

- ⚠ 注意**
- ❗ 施工前には使用する壁板厚をご確認ください。本商品は壁板厚が9mmと12mmに対応しております。その他の壁板厚を使用の際は壁面から固定用ステーの取付位置を調整し、施工してください。
  - ❗ 壁内空間は40mm以上を確保してください。

### 〈施工上の注意事項〉

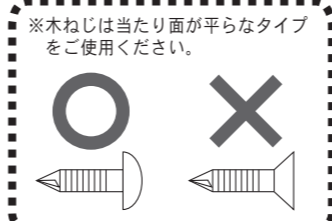
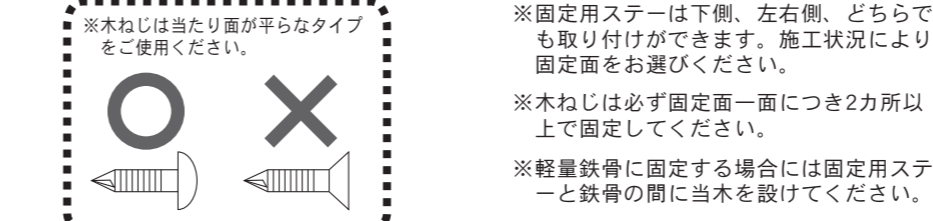
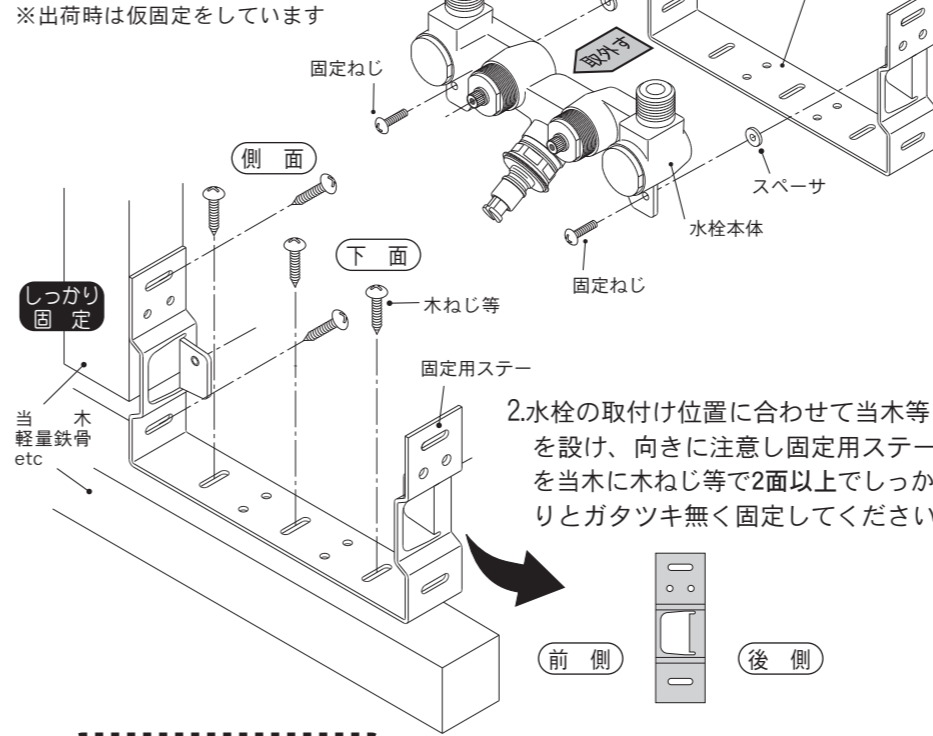
- ❗ 施工時には、防護帽、防護眼鏡、手袋等を身に付けて作業を行ってください。切断した木片、ボード等でけがをされるおそれがあります。

施工の前には、「取扱工事説明書」を熟読し正しく施工してください。また、ご不明な点は弊社担当者と充分打ち合わせの上、実施してください。

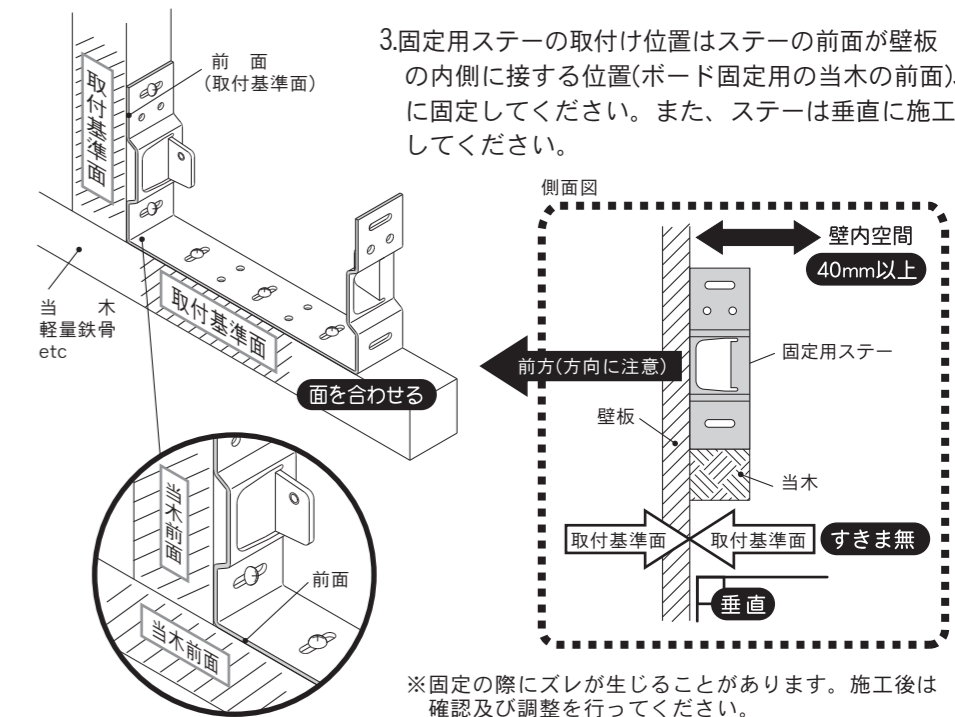
# 2 器具の取付け

## 1.固定用ステーの取付け

1.水栓本体を固定用ステーより取外してください。(水栓本体は左右の固定ねじを外す事で取外す事ができます。この際スベーサをなくさないよう注意してください。)  
 ※出荷時は仮固定をしています



※固定用ステーは下側、左右側、どちらでも取り付けができます。施工状況により固定面をお選びください。  
 ※木ねじは必ず固定面一面につき2カ所以上で固定してください。  
 ※軽量鉄骨に固定する場合には固定用ステーと鉄骨の間に当木を設けてください。



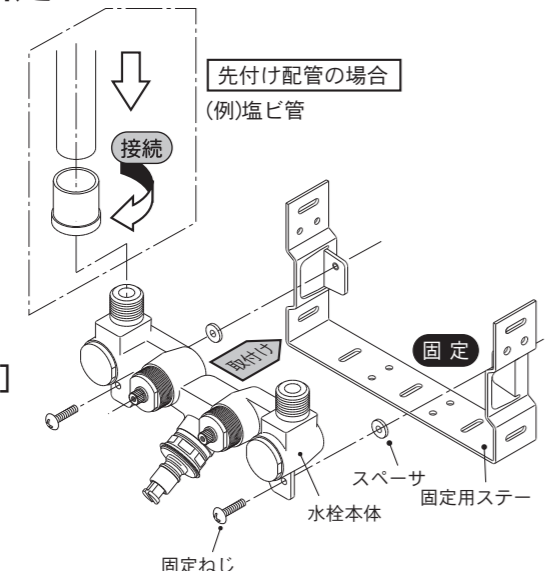
### 〈固定用ステー取付上の注意事項〉

- ❗ 固定用ステーの当木への固定は必ず2面以上で行ってください。ガタツキにより部材の破損が生じ、漏水の原因となります。
- ❗ 固定用ステーはガタツキがないように堅牢に取付けを行ってください。ガタツキは部材破損の原因となります。
- ❗ 固定用ステーの固定の際は向きに注意し、正位置に取付けください。逆向きでは水栓が正確に取付け出来ません。
- ❗ 固定用ステーの取付け位置はステーの前面が壁板の内側にきちりと密着する位置に施工してください。施工のズレによりカバープレートが取付けできなくなるおそれがあります。

## 2.管の接続及び本体固定

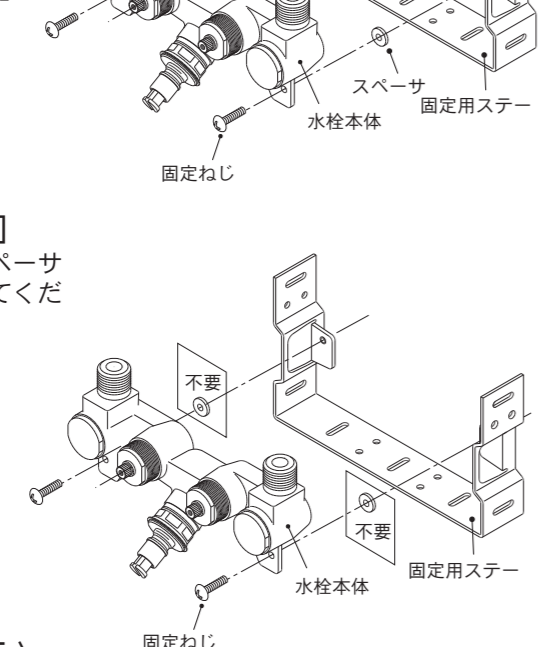
### 【先付配管の場合(従来配管)】

取付け前には必ず通水し、給水管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。管の接続作業は水栓本体を固定する前に行い、その後水栓本体を固定用ステーに固定してください。ビスは付属の固定ねじをご使用ください。



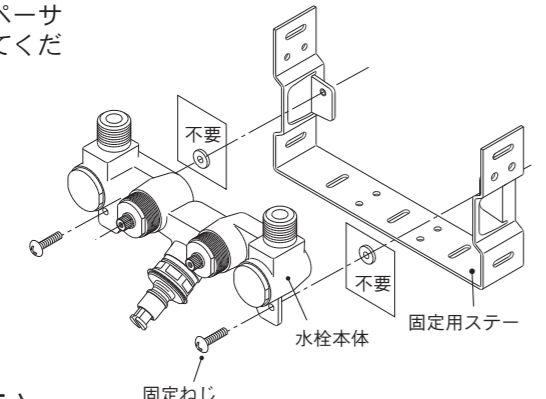
### 【後付配管の場合(さや管工法)】

水栓の固定(仮止め)のみを行ってください。  
 ※仮固定は壁板施工後の穴開け作業の位置決めになります。  
 ※配管の状況によっては先付配管を行ってください。



### 【壁板厚9mmを使用の場合】

水栓と固定用ステーとの間のスベーサを外して固定ねじで固定を行ってください。



### 〈管の接続時の注意事項〉

- 🚫 管の接続作業は水栓本体を固定用ステーに固定した状態では行わないでください。増し締め等の作業により固定用ステーが破損するおそれがあります。

## 3.壁板施工(壁板の穴開け)

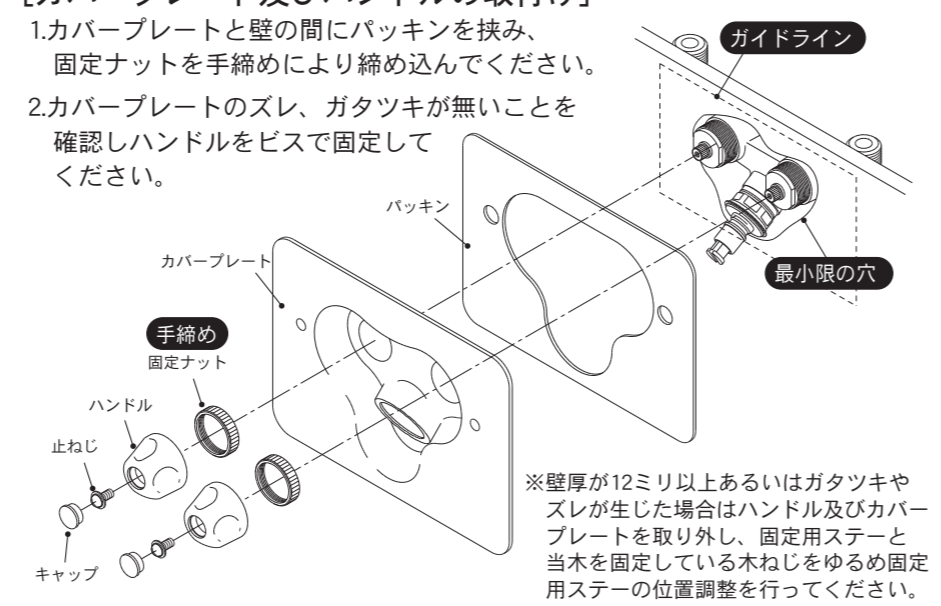
### 【先付配管の場合(従来配管)/後付配管(さや管工法)の場合1】

壁板施工時に水栓取付けに必要な穴を開けてください。水栓の突起に当たらない最小限の穴を壁板に開けた後、同梱のボード型抜きシートを使用してガイドラインに沿って穴を開ければ簡単に必要な穴を開ける事ができます。  
 ※穴の明け過ぎにはご注意ください。※壁板施工前に穴を開ける場合は寸法図を参照してください。

### 4.完了 (後付配管の場合は次ページ後、完了作業へ)

#### 【カバープレート及びハンドルの取付け】

- 1.カバープレートと壁の間にパッキンを挟み、固定ナットを手締めにより締め込んでください。
- 2.カバープレートのズレ、ガタツキが無いことを確認しハンドルをビスで固定してください。

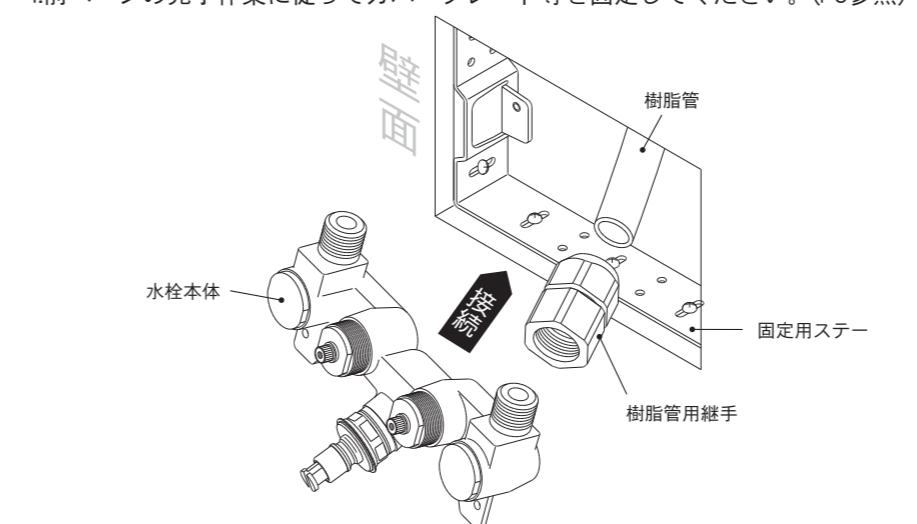


※壁厚が12ミリ以上あるいはガタツキやズレが生じた場合はハンドル及びカバープレートを取り外し、固定用ステーと当木を固定している木ねじをゆるめ固定用ステーの位置調整を行ってください。

## 管の接続及び本体固定

### 【後付配管(さや管工法)の場合2】

- 1.壁板に穴を開けた後、固定用ステーに仮固定されている水栓本体を取外してください。
- 2.樹脂管用継手を使用しさや管内を通路してきた樹脂管と接続を行ってください。
- 3.水栓本体を壁内に押し込み、取外した際のねじで固定用ステーに固定してください。
- 4.前ページの完了作業に従ってカバープレート等を固定してください。(P5参照)



### 〈カバープレート取付上の注意事項〉

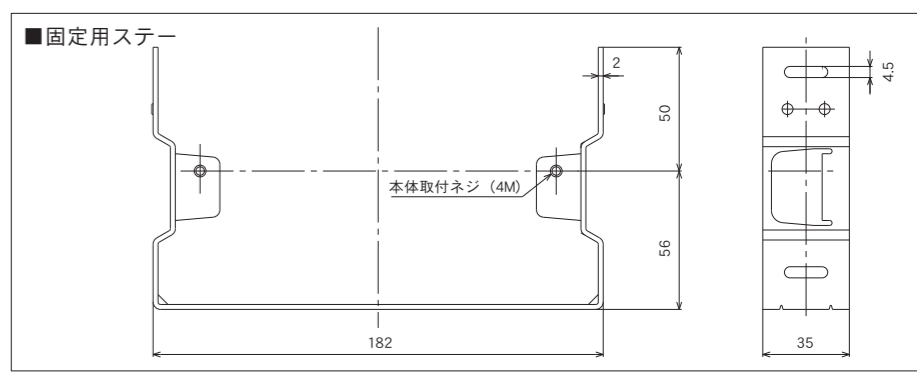
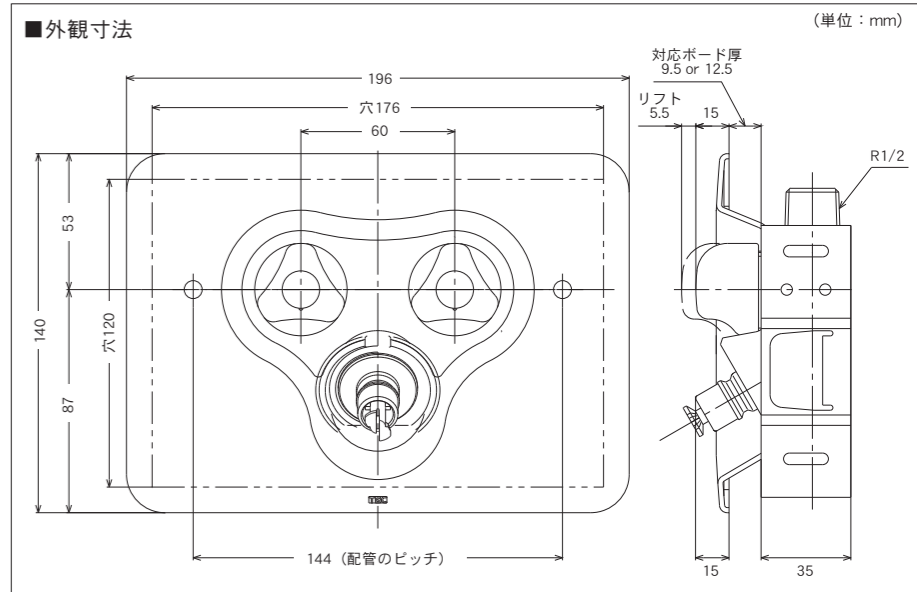
- ❗ 壁板に穴を開ける寸法は必ず、型抜きシート及び寸法図どおりに開けてください。カバープレートの接触や隙間により、美しく取付けができなくなります。
- ❗ カバープレートの取付け後、水栓本体のカバー吐水部のつばが完全に露出していることを確認してください。不完全な露出は洗濯機用カブラーホースが接続できず漏水を起こします。

### 〈寒冷地での取付けについて〉

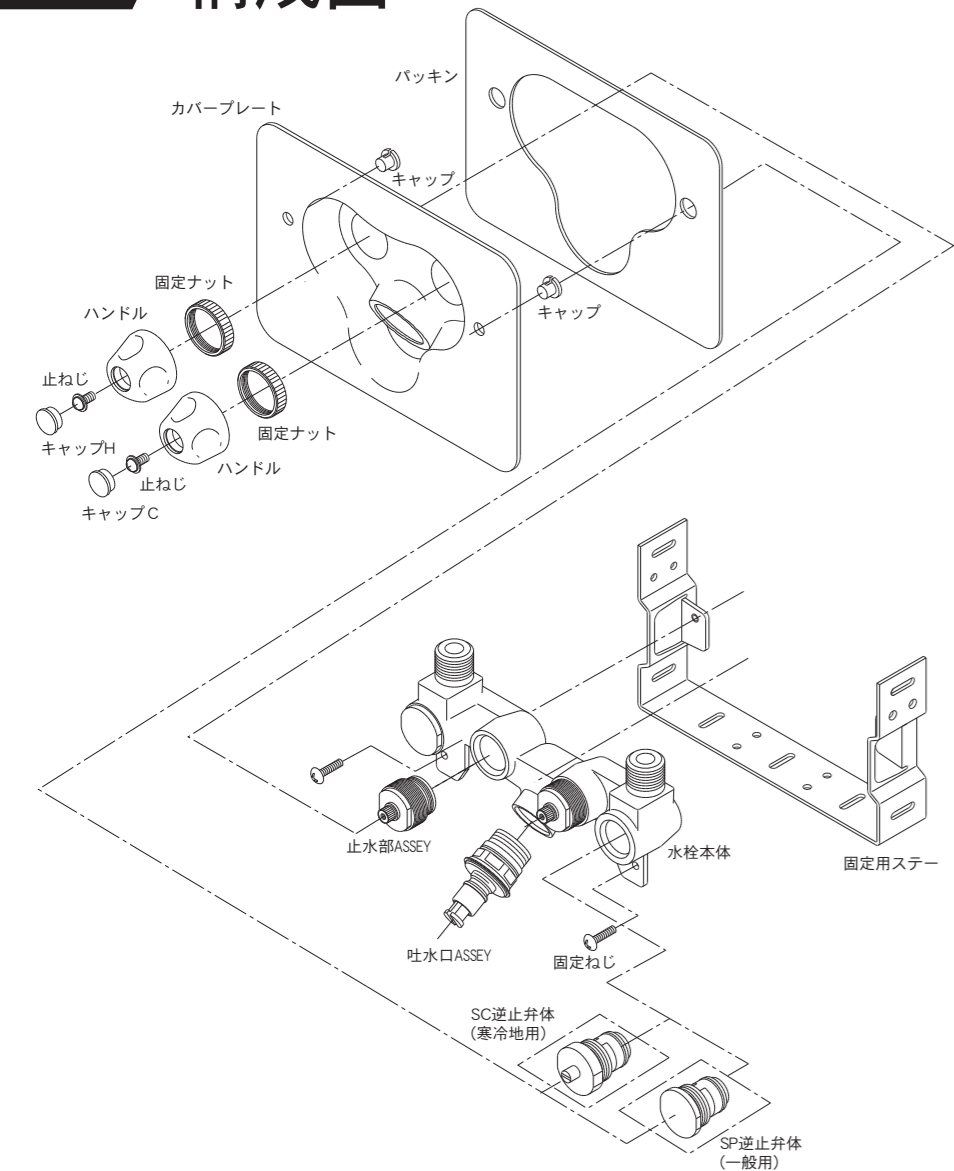
- ❗ 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

# 3 仕様・寸法図

型番	SP1200US SC1200US SP1200USA	仕様 逆止弁・緊急ストッパー 寒冷地仕様(逆止弁解除・保温材付)・上記同仕様 SP1200同仕様・WH低減機能	取付条件 壁内空間:40mm以上 ボード壁:9.5mm or 12.5mm 対応カラー:日本電気工業会規格JEM1206
----	-----------------------------------	--	---



# 4 構成図



# 5 使用上のご注意(お客様へ)

## ■カプラーホースの接続

本製品は規格品のホース接続用カプラーに対応しています。(日本電気工業会規格JEM1206)カプラーホースを図のように引きながら、水栓の吐水口に挿入してください。また、カプラーのつめはカバープレートのくぼみへ引っかけてください。接続後はホースを軽く引っ張りホースが簡単に抜けないこと確認してください。

- カプラーが正しく接続できない場合はカプラーの形状が違うおそれがあります。規定のカプラーをお買い求めください。
- カプラーを抜く時はつめを立て上記と同じ要領で抜いてください。

### 〈カプラーホース取扱上の注意事項1〉

⚠ 注意	
❗	カプラーホースを接続する際は吐水口内の水圧を抜いてから接続してください。水圧により接続ができない場合があります。
❗	万が一、カプラーホースが外れても自動的に漏水を防止する機能を備えておりますが、器具を使用しない時は必ず水栓のハンドルは閉じてください。

## ■お手入れについて

水栓器具がいつまでも美しさを保つよう、次の要領でお手入れをしてください。

- 普段は柔らかい布に水またはぬるま湯を浸し、よく絞った後よこれを拭き取ってください。
- よごれのひどい場合は中性洗剤をぬるま湯で薄め、浸した柔らかい布でよごれを拭き取ってください。その後、乾いた柔らかい布で磨いてください。

⚠ 注意	
⚡	酸性洗剤・塩素系洗剤・銹物性潤滑油・シンナー・ベンジンなどは樹脂部品を傷めますので使用しないでください。本製品はカバープレート等に樹脂製品を使用しております。

## ■カプラーホースが外れた時の対処法

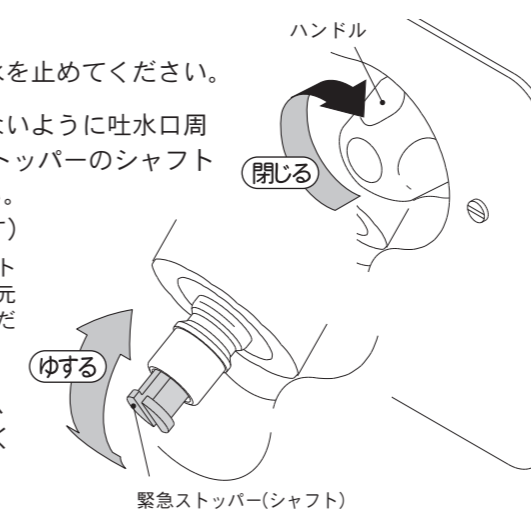
万が一、通水中にカプラーホースが外れた場合やカプラーホースを接続せずにハンドルを開けた場合には吐水口に内蔵された緊急ストッパーが作動し、水が止まる構造になっています。再度、カプラーホースを接続する場合は下記の要領に従って行ってください。

1.水栓のハンドルを右に回して水を止めてください。

2.吐水口に溜まった水がこぼれないように吐水口周りにタオル等を設け、緊急ストッパーのシャフトを手などで揺すってください。(吐水口内部の水圧が抜けます)

●水圧が高く緊急ストッパーのシャフトが動かない場合はハンドルを開き、元栓を閉じてからシャフト揺すってください。

3.前項の洗濯機用カプラーホースの接続に従って接続を行ってください。



### 〈カプラーホース取扱上の注意事項2〉

⚠ 注意	
❗	カプラーホースの接続の際は必ず水栓のハンドルを閉じてから行ってください。水の飛び散り、部材破損及び漏水の原因となります。
❗	カプラーホースは必ず日本電気工業会(JEM1206)の規格製品をお使いください。シール不足やホース抜けによる漏水の原因となり、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## ■寒冷地仕様の水抜き方法

(逆止弁解除機能付：SC1200US)

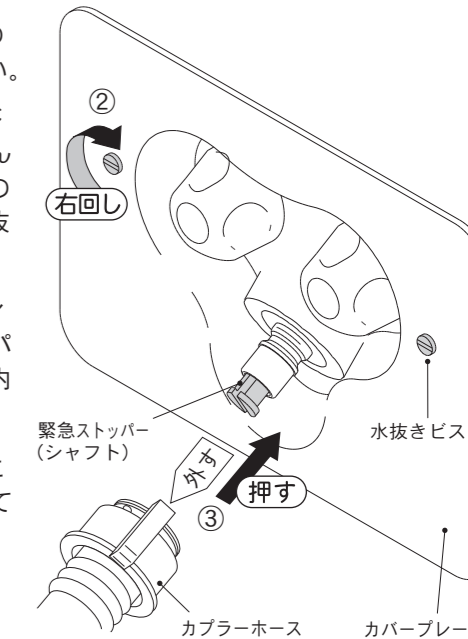
寒冷地用の場合は水栓内部の溜水を抜くため、逆止弁解除機能を設けています。凍結のおそれがある時期には次の要領で水抜きを行ってください。

1.室内配管の元栓を締め、配管中の止水栓(水抜栓)を開けてください。

2.カバープレートの左右のビスをドライバー等で右へ回し、ねじ込んでください。(水栓本体の逆止弁の解除が行え、水栓内部の溜水を抜くことができます)

3.カプラーホースを外した後、ハンドルを開けた状態で緊急ストッパーのシャフトを数回押し、水栓内部の溜水を抜いてください。

4.水抜き終了後は水抜きビスを左に回し、元の位置まで戻し全開してください。



修理の際はお求めの工事店にご依頼ください。なおご不明な点は最寄りの当社事業所までご相談ください。

水と暮らしを結ぶ **株式会社 タブチ** 商品のお問合せは **0120-481-130** いいみず

〈本社/工場〉〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1-56  
 〈支店/営業所〉札幌・盛岡・仙台・北関東・新潟・千葉・土浦・西関東  
 首都圏・静岡・金沢・名古屋・大阪・岡山・広島・福岡・南九州・沖縄  
 TEL 06-6708-0150 (代) FAX 06-6708-0210  
 受付時間：9:00～18:00 (土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)